

2015年度

人権と文化のつどい

◆講演（人権の部）

「地域人権憲章から見た今後の地域づくり」

◆講師 石倉 康次 氏（立命館大学・産業社会学部教授）



【プロフィール】

1952年奈良県生まれ、立命館大学大学院社会学研究科博士後期課程を退学後、都市計画コンサルタント、総合社会福祉研究所主任研究員を経て、広島大学助教授として12年間勤めた後、2005年より立命館大学産業社会学部教授に就任。総合社会福祉研究所理事長も務める。
研究分野は、認知症高齢者のケア、社会福祉経営論、部落問題の解決過程等。著書に『転換期の社会福祉事業と経営』、『形成期の痴呆老人ケア』、訳書に『ソーシャルワークの復権』等がある。

☆地域人権憲章とは・・・

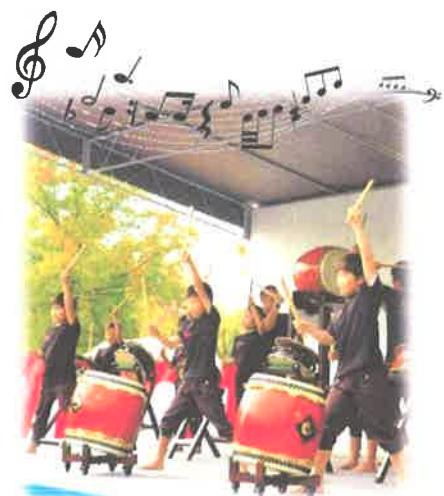
地域社会に居住するすべての人の人権が真に尊重される時代を築いてゆくために、地域住民全体と一緒にになった地域づくりに活かせるものとして、全国地域人権運動総連合（全国人権連）が、「地域人権憲章」を2012年11月の第5回全国大会で採択しました。

◆三門太鼓 演奏♪（文化の部）

【三門太鼓紹介】

小学生・中学生を中心として毎年、地域のお祭りや保育園、老人介護施設などの行事に出演。

1996年11月、地域の大人たちが「子ども達の拠り所になる場所」「何かを集中して取り組める場所」「地域の大人たちが子ども達を見守る場所」を作ろうと立ち上がり、『三門太鼓を創る会』が発足。山陽新聞にとりあげられ、来年20周年を迎える。



とき 11月28日(土) 14時～16時(受付13:30より)

ところ 岡山市勤労者福祉センター5F (岡山市北区春日町5-6)

参加費 一般 500円 障害者・学生 無 料

主 催 地域人権運動岡山市連絡会（人権岡山）

後 援 岡山市・岡山市教育委員会